

自 由 意 見
今の子ども達は、学習塾。習い事。又はゲームにと室内で過ごす時間が多すぎる。もっと外へ連出して遊ばせる様にすると良い。
他人の家の子どもにも声をかけよう。
お手玉、折り紙の作り方を教える。
竹馬、竹とんぼを作って遊びたい。
家族で出来るスポーツ。
広場で思いきり遊ぶ。
よその子どもにも声をかける。
屋外で遊ぶ。
週に1回学校の運動場を借りて、親子でお遊び 土曜の午後出来たらと思います。
ピンポン
まりつき
現在保育園は3才児からが一般の様ですが、基本的には3才迄の子育ては、親(主に母)にしてほしい。家庭の事情により私にはできませんでしたが、散歩中にすれ違う人との挨拶、夕焼けに感動。落ちているごみや缶を拾う、道端の花を慈しみ、お地藏様に手を合わせるなど。こんな事が子どもの心に思いやり、道徳心感謝等芽映えるように思います。私の子育ては心残りがあつたけど、今は孫にそれを心掛けています。もう一つ“明るい心”という教科書があつたと思いますが今はないのでしょうか？
地域で子育てに関する行事等があれば、できる限り参加、協力したいと思います。
何事も根気よく一から教えて行く事が大切だと思います。(たとえば種子をまいて育てる等管理して、育つ喜び等を味わう事)
70歳以上の親では、子育てはなじまない。地域の方針で参加することになれば参加する。
隣同士助け合いの心で付き合う。お互い他の子どもを親切に面倒を見て、子どもが一生忘れぬ第2の親子になる社会が良い。
子育てで悩む親達にこんなお手伝いをしてあげたい。相談相手に。
私は結婚して主人の実家のある碧南に引っ越して来ました。子どもは2人いますが保育園に入るまでは相談する人もなく、横浜の実家や友達に電話ばかりしていました。海外からの方もたくさんみえるので、小さい子どもがいる他県から越して来た人達などの為に気軽に相談出来る場を作ってほしいと思います。広報などで地域の方がよくわかるようなテーマを取り上げてほしいと思います。
もっと、社会が寛容になれるといいと思う。子どもをもつ人がみずから積極的に活動しなければ、提供しているだけでもだめだと思う。これらのことがすべて強制だと嫌になると思うので、ボランティアで。
以前少年野球チームの親で作る会でチームの支援活動に協力しました。いろんな年中行事を企画実行する中で知人友人も増え、なつかしい思い出作りが出来ました。この様な会が楽しく運営出来たらと思います。
休日に子どもたちが気軽に参加できる「〇〇教室」のような行事を開催する。(将棋、料理など)場所はできれば学校で。
核家族で子どもも小さいので、今は、具体的な事は何も思いませんがもう少し大きくなれば、子どもが学校に通う午前中とかであれば何かをできる時間がとれると思います。
○地域の交流を深め、他人の子どもにでも何でも言える様にしたい。○子どもたちが元気に遊び回れる場所、又それを大人たちが遠くから見守れる場所があった方がよい。○遊びに行くまでに、危険のない道路作り(スクランブル交差点等)
未就園児家庭の家庭訪問。近所の状況や、色々な情報が直接伝わりやすい。
ボランティアにしる、支援にしる、参加する側、される側を強制するしくみでは、何かをしなければならぬ事になりうまくいかないのではないのでしょうか。自由参加で活動できる場を作って下さい。
区画整理した所には、空地(公園)などがあるが、混雑した住宅地にも空地(公園)を作ってほしい。そうならば、(親子づれ、じじばば、孫づれ、学生)などが集まる事が出来る。
再生会などに就園前の子どもたちと一緒に遊ぶ会を開く。地元の昔話を聞く会。
年代の交流が出来るとよい。
子どもも参加してのゴミ拾いは、とっても大事な心掛だと思う。
今行われている油ヶ淵の菜の花作りに、子どもも参加して自然に親しむ機会を作ると良いと思う。
地域にある子供会に対し、市より人、金を出して、市、地域一体となって活動したらどうか。

自 由 意 見
○親達が気を付けて通路を汚さない様に気を付ける。これは皆が出来る子育ての基本でもある。○昔は子供達が遊ぶ様な広場があった。今日においても公園だとかサッカーあるいはスポーツが出来る広場を子供たちに与えたら健全な心も宿ると思う。○緑のある空間がたくさんあったらよいと思う。○思いやりのある託児所の建設が望まれる。○外国から働きにきた子供さんの家庭に対して、一般市民の方の協力が欠かせないと思う。たとえば使える不要品などさしあげたり、経済的に援助する。○子供達に学力以外に生活の知恵といった考えを子供達に指導する場を提供したい。○貧しい家庭に対して周りの住民が援助する気持が大事かと思われる。○海、あるいは川をきれいにしてそこで子供達が自由に遊べる様にしたい。
子供の頃は小学校上級生が“ガキ大将”となりいつも一緒に遊んでいた。屋外で一緒に遊びその中で人と人との関係が自然と出来、将来役立つと思う。親は塾・習い事、テレビゲームから開放して自由に遊べるようにすべき。親が出来なかった事、例えば一流大学を出て一流会社に入るのを押しつけないで！
もっと公園、神社、お寺等で遊べる様な、子供達が楽しく興味のあることを、親やお年寄りが一緒にワイワイとやれることを小さなことからやっていく。
アパート、マンションに入居しているご夫婦、お子さん達が、地域のつどい、行事に参加できるような町の雰囲気、環境づくりが大切だと思う。
○ものづくりを通して大人、小人年の差を乗り越えた活動も良いのでは？
このアンケートが得ようとしている「子どもたち」への対応について。「子どもたち」とは、未就園児前か就園児か小学生低学年かが明確にしていない。区分して対応等を考えるべきだ。(例)①未就園児の対応:子育てで経験者の若い主婦らを市で擁護するファミリーサポートセンターの充実が必要。②小学生低学年の対応:近くの区民館、神社、寺などで子どもたちが、自由に…遊びを工夫して行動できるよう、大人たちは、思案。そういう場づくりが必要。
○子供には子供の自由時間を多く与える。テレビのない生活時代に戻る。○田んぼ・川に入れる場所をつくる(ドジョウ、あめんぼ、タニシ、ザリガニが住む場所づくり)○町の中に自動車の入れない広場をつくる。○夜間でも子供が一人で歩ける明るい小道づくり。○町の中にアスファルトしていない水溜りの出来る道をつくる。○町の中にくり、柿、みかんの実る林をつくる。虫の寄っている林の森ブドウづくり。
子供達に祭礼、盆おどり等公民館活動などの参加を呼びかけ運動を実施し、全員参加で地域に密着した子育て支援の会を、町内会を下部組織として設立してはどうか。(おやじの会がありますがPR不足では。)
○道で行合う人には、だれもが挨拶を交す風土にすることが基。大人から子供に、子供から大人に。それが続けば、話をしてみたい気持ちに変化して、皆が知り合える事になると思う。“挨拶運動”は良いと思う。○互いにやってはいけない事を見つけた時には、叱ってあげる風土にする。昔は、子供達がやってはいけない事を見付ければ、自分の子であろうが、他人の子であろうが叱ってくれる大人がいた。叱ると言うことは、やってはいけない事を学習させる事と思う。そんな行動を大人はすべきです。
「子育て」の基本は「健康なからだ」、病気にならない、なりにくい「からだ」をつくってやることだと思う。そして、「感性のある身体」づくりが必要と考える。裸(素)足で(はだし)で草の上や土の上を歩かせたり、たんぼの中に入れて、その感覚をしっかりと、つかませてやる必要があると思う。そこから創造性や、独立心がうまれてくると思う。親は、子供の後についていく勇氣をもって見守るべき事を教える必要があると思う。いろんな物をさわったり、みたり、なめたりする事によって何に興味をいだいているか知る事が重要だと思う。
○何事も頑張る強い子にしたい。○運動会等順位をきめ、目標をもって生きる子供にしたい。○長所をのばす強い子にしたい。
外での遊びを色々と教えて家の外へ出来るだけ出させる様に考えたい。
「仕事」と「子育て」をうまく両立させるには、誰かのお手伝いを必要とする時があります。児童クラブや延長保育は絶対必要ですが、子供が病気の時も預かってもらえるような支援も必要だと思います。碧南にもそういう支援活動が早くできるように願っています。安心して母親が働けるようになれば少子化も少しは改善されるのではないのでしょうか。
思いやりのある子どもたちに成長してほしい
親子が安心して集う場を作ってほしい。又、サークル等を作ってほしい
児童センターを多く作ってほしいと思う(区民館と同じくらい)。
高齢者が集う場所(施設)は多いが、子育て支援等の出来る場所(施設…児童センター等)の建設計画を願う。
神社、公園等、安心して過ごせる場所の確保。

自 由 意 見
<p>自分の子育て中は、実家の母(家がかかり近かった)に随分力を借りて、助かったし、いざという時には、なんとでもしてくれるという安心感がありました。今、孤独で不安を持ちながら子育てをされているお母さんがいらっしゃるなら、お役に立ちたいと思います。特別な資格はありませんが、経験の中から、お話しするくらいの事ならできるかも知れません。</p>
<p>老稚園化？高齢者の憩の家の活用として若い親達子供とのふれあいの場所として、屋内、屋外の開放。高齢者も自分世代の楽しみカラオケ、グランドG旅行のみに、エネルギーを使わず。次世代の人達への協力出来る人達は、各自得意分野での活動、歌の好きな方は、子供に聞かせる歌、昔話(土地にまつわる話でも)。お手玉作り、手作りおやつ作り、他にも色々あるかと。姑とか家族の人から聞くより素直に自然な形で接することが出来る。お互いに楽しみも出来、地域との親近感、つながりも出来、他人の子供、孫でなく、又遠方より碧南市へ転入された人達も身寄り、知人のない方々もいい関係が出来ていれば困った時に相談出来るかも知れません。それには行政の協力、子供達への安全面が必要だと思います。子供達は子供会でなく大きな輪の一つとしたい。</p>
<p>子供達にいつでも挨拶が出来る様に指導していきたい。子育てで悩む親、子供達に何でも聞いてあげたい。そして体験した事等を話してあげたい</p>
<p>2児の母です。出産前は仕事をしていたので地域の活動に参加したこともなく、興味もありませんでした。出産を機に退職し、家の中で子どもの世話をするようになり今までの生活とがらりとかわり、起きている時だけでなく、寝ている時までも子どもの世話におわれたり、自分の時間がない。スケジュールのとおりにならないなど、戸惑うことがたくさんでした。24 時間救急病院に勤めているような気持ちで会社のような休憩時間ももちろんないので慣れるまで大変でした。ほとんどの母親は仕事をしていて、出産後の急な生活の変化に戸惑ったり、なじみのない公園や児童センターへ行く勇気がなかったり、他の親子がグループで遊んでいると、気後れして入りづらくなり、どんどん孤立していくので、1人でも入りやすい活動や場があるといいと思います。</p>
<p>最近では元気に外で遊んでいる子供達がいまいません。</p>
<p>子どもたちが安心して遊べる広場がない。</p>
<p>主人が趣味で、自宅で陶芸をしています。作品(はにわ・つぼ・花びん)をオブジェ的に庭や家の廻りに置いていたら、覗きに来る子がいました。粘土遊びをしながら形をなつた物が色付され、焼き上がった時は、どの子も「ワー、すご〜い」と感動で声が出ます。主人も少年の様な気持ちで物作りをしていますので、教えている時は同じだと思います。遊びに来たい子供たちがいたら受入れてあげたいと思っています。</p>
<p>道では車が多いですし神社では皆さんがたくさんいるときはいいですけど、少しの人の場合は危険ですよ。子供さんが少ないから区民館の活動もあつまらないですよ？</p>
<p>安心して遊べる場所が少ない、親子でふれあえる場がない、森や山がほしい。</p>
<p>お祭りとか町内の集いに子供達に積極参加させ、挨拶の励行、皆で集って何かをやる面白さを体感させて、子供会が自主運営出来るようにリードする。</p>
<p>危惧しているのは遊び場より子供の声がかえった事です。子供は大人の、又テレビでやられている事に憧れるもので、時代時代に遊びは変化するものです。おしきせ遊具より、子供は遊びの天才ですから、山や森や砂場で自由に年長者のリード、思いやり、小さい子の長約の序、集団の和をそだててやりたいものです。大人や親が口出ししない辛棒が必要。</p>
<p>学ぶ(教える)、楽しむ(遊ぶ)、どんな時でも物事にはルールというものがあるので、それを無視せず、又子供の後からでなく一緒に参加、行動出来たら理想的。</p>
<p>食にたいして睡眠にたいして子供の目線と考えてほしいと思う。子育てに通用すると思う。</p>
<p>○公園がいくつかあっても子どもたちにあまり使われていない。○この上、油ヶ淵の公園はいらぬ。 ○田や畑をつぶすのは反対します。</p>
<p>生まれ育った所は人の人生の中で特別なものです。大切なものです。もし、他の土地に行くようなことがあっても、いつか戻りたい。と思うものですし、そう思われるような地域にするように、大人たちは努力すべきです。例えば、お祭や毎年の行事等、伝統といってもそれを伝えることが難しくなっていると思います。箱ものでなく人力で奉仕、ボランティアの心をつなぐ、コミュニティをつくりたい。仕事で忙しくても、何かのきっかけがあれば、人の顔につながり、楽しくなるものと信じています。</p>

自 由 意 見

○神社の榊の木の実を拾って、コマを作り遊んだ。○小学生の年上を対象にして郷土の昔話をするグループ作り。高学年対象の昔の事を話す語り部づくり。○市民にPRして、不用になった鯉のぼり、節句人形など寄付してもらい地区ごとに展示して、公民館、区民館など子供達と遊ぶ催しを定期的に開催する計画。(鯉のぼりは、油ヶ淵をまたぎおよがせる施設をつくる) 別紙の通り掛声よりも心がけができる事から家庭、地区、地域、行政が連携して実施する事がなにより大切と思う。【実践事例①数年前に荒子町6丁目に広い立派なゲートボール場とグランドゴルフ場ができました。未使用の時間帯には、子供達のサッカー、キャッチボール、自転車乗、ランニング、たこ上げ、親子による色々な遊びなど地域唯一、安心して遊べる広場です。後日町内会の回覧板でゲートボール、グランドゴルフ以外は使用禁止となりました。管理者にその理由を聞きましたらボールが隣の畑へ入り農作物が荒されるとの事でした。苦情の結果です。子供達の夢が消えてしまった訳です。その後市において二面にわたり防球ネットを張ってもらい苦情が解決しました。私達の子供時代元気一杯に遊んだ事を思い出して再度使用できるようになった事を喜んでおります。 ②笹山町にある神明社は碧南市でも有数の整備された神社だと思います。境内の広場も大変広く一角は遊園地、公衆便所も設置されております。この広場では毎年町内会のふれあい運動会が実施されております。ここは緑に囲まれ広いので親子連れも、子供さん達の球技がなどなど絶好の遊場であります。遊びの中から打った球、投げた球が施設の戸にあたり破損します。氏子総代役員の発議によって戸にトタンが張られました。これによって被害はなくなり子供達は元気に遊んでおります。】以上2つの例を遊場にしばって申述べました。子供達が交通安全等気がねなく、元気に親子で兄弟で、友達と遊べる工夫を行政や地区・地域の住民、大人達が知恵を出して、リクツ抜きで掛声より心掛で実践する事が大切ではないでしょうか 地区や地域での活動も色々ありましょう。特色や活動内容にあった知恵を出せば…。出し合う事が必要ではないでしょうか。○このような子供達の遊ぶ広場に一人でも遊ぶ球技ができるようなバックネット板、(自分で投げ返球を受ける事ができる遊び)を設置してもらおうと喜ぶと思います。

問12で「挨拶」と書きましたが、今の若い親は子供と一緒にいる時でも自分から挨拶をしない。せめて子供と一緒にいる時ぐらゐは挨拶をしたり、交通ルールを守るなど最低のことができなければ私たちからはコメントはできません。子供は親の姿を見ています。お互いがんばりましょう。

親子、友達、子供、みんなで楽しめるように、油ヶ淵を利用した「つり広場」をつくり、土、日、祝日、学校の下校後、みんなで楽しめる場所があったら、気軽に屋外での楽しい思い出ができるのではないかな。

1日の始まり「おはようーおはようございます」「こんにちは」「ありがとう」「さようならー又ね」とか気軽に声のかけ合える世の中にしたいものですね。

○今の子供たちの親が弱いと思う、強く子供を叱って、子供の心を強めたい。○子供が弱い態度を見せたら相手にならず強く話した行動した時には、うんとほめるようにしたい。○昔の子は、兄弟が多く家庭でいじめられていたので、学校でいじめられていても平気でもまんしていた ・協力することを家庭で親が教えるべきだ。

○地域にある様々な職業(職場)を見学したり、簡単なことなら参加できる機会を持つ。(職業に関心を持つ→自分のやりたいことがさぐれる→挑戦する機会を持つ→自己発見につながる→職業に熱中していける→自己満足になる→社会のためにもなる→ニートも減少する。○市のもの作りセンターの更なる活用法をもっとしっかり宣伝→子供たちの送迎バスの運転→市民共有財産の活用の増大などは、有能な団塊世代の活用にもなる。 ○できるだけ自立できる人間の育成

○老人会役員として昨年、新一年生の下校時に随伴して歸りました。たぶん今年も下校時に必要ならば参加しますので、下校ルートをもっと早く知りたい。○鷲塚公民館で卓球をしている時 四年生か5年生位の学生が来て一緒にやった。夏休みみたいな長い休みな時、小学校の方でスケジュールを組んで下されば協力し、卓球ならばお教えします。責任者の先生が見えれば幸いです。学校、市役所、老人会等もっと話し合う場がほしい。一昨年鷲塚小学校で東端に飛行場があったこと、今の明石公園は海だった事、今の市役所の所は田んぼ、だったよ、と言ったら子供達はびっくりしていました。何の時間だったかな？

色々な手遊びのマニュアルのようなものを新生児2か月のお誕生おめでとうの訪問の時に配って欲しい。

昔は農作業を手伝い、子供のころから農業を身近に感じてきたが、今の子供たちはそういった機会が少なく少し残念に思う。また、私が子供の頃は、ひなまつりや地域の祭りなどの行事のとき、まんじゅうや色々な料理を自分たちで作ったが、今はスーパーやコンビニで買ってきてしまう傾向が強いと思う。だから、家族や地域で何か一緒にすることを経験を子供たちにさせることが大切だと思う。

今の子供はゲームばかりして外で遊ばないので、もっと外で遊んだり走ったりした方がいい。

○特に外で遊ぶ時間を親からつくって欲しい。○大人から挨拶をするようにしたい

自分の子供だけでなく人の子供も見守る事ができるように。

自 由 意 見
以前下区民館でおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に小学生の子が卓球をしていたのですがまた、やりたいと言っていた子がいたので宜しくお願いします。
昔は、竹の棒で作った竹馬やあき缶で作ったなどがあり、身近にあるもので遊ぶ物を作ったりしていたので、その様なものの作り方を子供達に伝えていってもらいたいと思います。地域の方とのコミュニケーションも深まり顔を覚えてもらうことで子供達のことをみなさんに見てもらえることで、まっすぐに育ってくれると思います。
○人の痛みがわかる子どもに育ってほしい。人の嫌がる事はしない、言わない。○子育て中のお母さんが安心して仕事が、子育てができる園になっているのか。悩むことが多い。親のニーズだけを受け入れるわけではないが、まず安心して預けられる保育園、その中で地域の方が入り子育てに参加できる事はないか考えたいです。(たとえば、老人が来園できる園庭開放日とか。)
全ての子ども達が規制なしで遊んだり、親子さんも自由に色々な相談が出来たり、又親子と一緒に来られたりする場所があり、その中で老人の大人の人達が指導される事が出来る場所が出来事を望む。
○隣同士で忙しい時に助け合う(手伝う)○隣、近所で子どもの面倒を見る(責任は全て親にある)○地域全体で子どもに声かけをする(挨拶を手初めに)○お寺での集会を持つ(宗教教育の必要性)
何かを伝えるとかよりあそこに行けば大人の目があるからと親が安心して送り出せる場所を確保し、子どもの遊びの中に大人が加わったり見守るだけでもいいので、交流ができればよいと思う。
私達が子供の頃は隣の子等とよく遊んだものですが今は同級生とだけつきあっている様です。小、中学生の頃クラブ活動とか趣味のサークルなどで少し位の年は関係なくおつき合いが出来る様になると良いと思います。
○戦争の話が出来る場があると良い。○誰でも出来る、スポーツ教育の場での交流から、心身をきたえる。○永年協力を請うリーダーの確保。○交通安全意識の向上に対する活動参加。○親を教育する場作り。○食生活の見直し。
若い人達と気楽にお話のできる場が多くほしいですね。
大人の発想に基づくイベントでなく、子供が自からプランを作り、計画したものを地域の大人がサポートするような仕組みを作れないか。
中央小学校の運動会は、地域ぐるみで行っています。全世帯の方々の参加で子供達と一緒になのでとても楽しいです。
家族がまとまって生活出来るような社会のしくみ(親、子、孫同居)をつくったらどうかと思う。家族が助け合って生きていくことが人間の生きがいではないだろうか。
まず、地域ごとに子どもと大人が出来るスポーツで楽しみを作ると良いかな！！(ドッジボール、なわとび、卓球)
サッカー
ここに行けば子どもが遊べるという場所を常に提供していること。ここへ連絡をすれば子育ての相談ができるという連絡を常に公開しておくこと。
散歩したり。
○木登り、かくれんぼ、石けり、ソフト→身近なところで遊べる場所がない。○上下関係のない絆づくり 昔のあそび、昔話等々子どもに伝えたい事は山ほどある。何より母親の子育ての姿勢を第一に考える必要があると思う。保育園へ託せてもう子育ては自分がしなくともよいという考えが多いと思う。いくら働く母親のために保育園といっても、子育ては母親の役目という事を忘れないでほしい。何年か前自分が母親にしてもらった事を考えて、子育てをしてほしいと思います。
外で遊べる場所があるといいなあ。中高生が『おもしろい』と思える健全な場所作り…。
近所の家族が集まる、たとえば、道の草取り、公園の掃除、まず近所の人の顔を覚える。覚えさせる。何かがあったら家族で出掛ける(イベントとか集り)。皆さんが自分の子自分の孫だと思えば、自然にやさしく、大切に思える。
老人会等で、保育園等で一緒に遊ぶ機会があれば、喜んで老人は行くと思う。
子育てで、ストレスがたまったりしたら、我家においてよ。親子一緒に畑で遊び、穫れた野菜など持ち帰って、いっぱい料理して、いっぱい食べて、元気にそしてストレス等ふっとなでしようよ。
今の若い親は平気で小さな子供(赤ちゃん)をひとりで家において外出して、事故や事件があります。そんな時きがるに子供の面倒をみてあげる地域の人があるといいと思います。私は今、部の役をやらせていただいているのですが、班長さんの家にかがう中で、電気はついていてもでてこない(子供がひとりであるみたいです)いつも留守になっています。他人事とは思えません。

自 由 意 見
私の家のおばあちゃんが元気な頃、かしの木デイサービスにいった時に保育園児との交流があり、とても喜んでいた事を記憶しています。子供達、保育園児達と、老人会、デイサービスの元気な人達との交流があると両方が楽しいと思います。市と地域が計画を立てるといいですね！ 地面に絵を書いて石けり遊び
○昔から日本で、語りつがれている言葉やことわざを、幼稚園、保育園、小学校の頃から、子供達に聞かせてくれる、お年寄りの言葉を聞く時間が、大切なのでは。○「天知る、地知る、我知るなり」誰も見ていないと思っても、見られている。誰よりも、自分に恥じる行動はしない。「親の意見となすびの花は千に一つの無駄もない」「能ある鷹は爪をかくす」「我が身をつねって人の傷みを知れ」など、昔からの言葉やことわざを大切に作る時間と場所がある地域になると、子供達が将来、人を思いやる心などが育つのでは。核家族化が進み、現在では教えてくれるお年寄りがいないのでは。
今子供達は色々な事を習っています。その中で『空手』『柔道』など。そう言う事を習っていない子供達に突然『しかける』事があるそうです。特に格闘スポーツを指導されている方(親)小さい時から『危険』を覚えてもらわなければと想います。
幅広い年齢層の人がもっと交流できる場があるといい。
○私自身の子育ての中で、身内に頼ることが出来ない環境にあったので、買物、急な病気の時の通院等年子の子をかかえて、本当に大変だったことを思い返します。地域の子育てを終えられたベテランの高齢者のお元気なボランティアの方に支えていただけると助かります。ただ、相方の事故の場合を考えると、難しいのかと考えてしまいます。○昔ながらの料理、おやつ作りを伝承していただけたら、ありがたいです。
安城市に地域サポートセンター“ちさぼん・ほっとスペース”があります。利用料 200 円で子供を自由に遊ばせ、保育士さんも2名いらっしゃるの(木のおもちゃが多いのがいいです)お母さん達もコーヒーを飲むことができます。碧南市にも是非このような施設を作って欲しいと思います。
西端の八剣神社は、木で囲まれていて、子供の遊び場として、特に子供広場は明るくないといけないうのに暗いため、若い人達が子供を連れて出掛けにくい。もう少し明るくして、小さい子供でも楽しめる遊具があるといいと思います。そして、ここに月一度青空教室として、外でかみしばいをする等した方が。昔あったような気がします。
今、子育て中の人から、子育てを卒業した人まで集まって、みんなに悩みを相談したり、子育ての不安やストレスなど聞いてもらえるような会があるとうれしいです。
子供の通学路のパトロールなどをしたいと思います。子供さんに挨拶もしてあげたい。帰りにはお帰りの言葉もしていきたいと思います。
共稼ぎ世帯が子供達の安全を確保出来る様な形で地域とかかわれる様なシステムがあるといいなと思う。
○区民館等を利用して子供に夢のある語りや手芸を伝えてやりたい。○スタッフが集まり一目的を持って例えば「平和で共存」できる子育てについてなど。
「昔は…」は、子供達とは乖離が大きく、どうしても押し付けがましくなります。寧ろ、子供達が求められているものに対して側面的援助ができればいいと思っています。又、子供達との活動により、子供・大人との一体感を培っていければと思います。(悩み相談等は専門でない場合はデメリットが大きく避けたいです)
小学校から保護者向けのアンケートがありました。授業後みていただけるのは親の立場からはとてもありがたい事と思います。ただ、最近の子どもは、習い事・塾・スポーツクラブと忙しいと思います。一度子供達の授業後の活動をアンケートしてみたいかでしょうか。なにが足りないか見えてくるのではありませんか。一人で過ごす子には人とのコミュニケーション不足、塾ばかりで運動不足とかがあるのではないかと。
○色々スポーツ文化活動など子供は出て来ません。出席する子供はいつも同じ子供です。出席する子供達は野球、サッカー、水泳、ピアノ等クラブに入会していて土日も忙しいです。区などの行事でドッチなど行事は役員の子供を集める様です。○声かけは知らない人がかければ安心どころか不安になる子もある様です。
どんな小さな悩み事でも誰かに相談してほしい。
子どもたちが安心して暮らせる地域を作っていきたいと思うので、周りにいる大人ができることを積極的に行う(例えば登下校の見守りなど)ことが大切だと思う。
今の子供は昔の子供に比べわがままな子供が多いように思う。叱っても反対に親たちに反感を持たれそうで怖い。

自 由 意 見
○昔6年程、児童クラブの指導員をしていました。家庭の事情が許せば放課後の子ども達のお世話をしたい。○日々犬を散歩させつつ地域を歩いています。昔に比べ気軽に声を掛け合ったり、挨拶を交わすことが少ない自分に気がきます。嫌な事件が多く、用心深くなったせいでしょうか。○幼い子どもを抱え、子育てで悩む母親と、まず言葉を交わす機会が持てればと思います。
○今は外で遊んでいる子供をあまり見たことがない。○近くにキャッチボールをしたり自転車で乗って遊んだりする場所がない。○子供が大きくなれば塾や習いごとで遊ぶ機会がなくなるのでせめて、低学年の内は元気に遊べる場所がほしい、その中で上下関係、又は人を思いやる気持ちが自然と出来るようになるのではないかと思います。
核家族化で悩みを聞いてもらう人がいないと思いますが、同じ様な子供を持った母親同志で付き合いお互いに話し合うとよいと思います。私の30年前の経験です。今になってもその家族と付き合いしています。
昔のあそびを通して、大人や子供が横、たてのつながりをもって、協力、和など生活に役立たせたい。
子供達を家庭菜園に参加させ生きものを大切に作る心を養う。併せて自然の恵みの有難さを修得させる。
隣の主婦や子供達と交流をしたいと思っても、新しく近所に越して来た若い人達とは仲良くしたいと思っても機会もなく今では回覧板もポストへ無断で入れておく世の中になってしまった。昔は回覧板が只一の隣同志の話の時間、それからごみのBOXのあった頃は、BOXに行くとき誰かに会い話をした。今の人を見ると皆、用心してしまう毎日のニュースを見ているとそんなに思うのは当たり前と思うので、地区で交流の場を作ってほしい。そのあと地区でそれぞれのアイデアを地区民にあった行事をすると良いと思います。仲良くしたい自分の知っていることを聞いてほしいと思っても話す場がないので、場を作ってほしいと思います。
自分の事ですみません。己の子育て期は昭和30年頃でした。まだその頃は生活状態も質素検約、治安も安定でした。だからこそ、子供の日々生活に不安を抱いてなく、就学中、下校後も親は、子供のことに神経過敏になっていませんでした。これとは別の家も有ったかもしれませんが、子供に習い事(学習塾)も旺盛でなく、一般の方は親もよく働く、休日もなかった。だから、子供は子供同志で仲良く、屋外で兄弟又近所の子達と、元気に日没近くまで遊んで居り勿論世相も大変よかった故でしょう。一言で言えば過去はよかった。だからこそ、現在の高齢者は元気で居られるのでしょうか。若い方の邪魔をしない様に感謝の気持ちで子育てに協力すべきだと思う。楽しい我が家の必須条件とは、親、子、孫、曾孫大家族で居ること。互いの我がままは言わない。遠慮がち。おもしろい精神が有れば太鼓判が貰えるかと。
学年の違う人が遊べる機会を作ってほしい。球技、カルタ等。
今は神社に子供の遊び場が有るのでそこで小さい子供の面倒をみながら、スポーツするなど。
昔はこの子はこの家の子か地域の人がわかっていたと思う。これからは皆で挨拶をしたり、気軽に年上の人とも話をしたりする関係でいたいと思う。
西端に住んでいますので、応仁寺の「蓮如さん」が昔のようにサーカスとまではいなくても、「れんによさんだなー」と思えるようなお祭りになると、嬉しいと思います。
夏の「元氣ッス碧南」は規模が大きく安定してきましたが、元々地域の盆踊りが大きくなったように感じられ、もう一度地元がまとまるように、戻してもらいたいと思う。
老人と子供、若い親と共に遊び楽しく話し合える場所をつくるとよい。
子供の行動は、親や回りの環境に影響されていると思います。子供達の感性はすごいと思う。良い方向に進む事を願っています。
保育園近くに住んで、毎日園に通う母子達から明るい元気な声で挨拶され、保育園での優れた指導教育がなされている事が何へ感心致しています。
退職後で暇のある方が、学校へ登下校時の見守る習慣があるといいと思います。(自宅前で立っているだけでも良い)
地区の子供達の集りの場を作る。冬など「火の用心」をよびかけ町を廻る。小1、小6など混合した集りで、活動行動機会を作る。(半強制的に参加させふれあいを促す)
先日午前9時頃、近所で犬を引っぱり散歩していたら、アパートの2階から「ワン、ワン」と言うかわいい声がしたので見あげたら3～4歳位の男の子と「おはよう」と声を返したら、母親が出て来て「知らない人と話をしてはいかんといつも言っているでしょ」と男の子は泣き、私もなんか寂しいやら悲しいやら、嫌な時代になったなと思いました。孫や近所の子供さん達にどう接したら良いか教えて下さい。

自 由 意 見
<p>子供が少ない今の時代親心として、人より良い学校、会社と先の事を考え、あまりにも良い意味での遊びがなく、片寄った子供達になり、甘える事も知らずに淋しい心のまま大きくなると思います。親達もお金のゆとりより心と時間のゆとりで、子供達に接してあげたい。私も 64 歳、孫も5人目が生まれます。色々な体験を孫にもよその子達にも、ゆとりの心で接してあげたいと思います。</p>
<p>子供や親と一緒に公園で遊ぶ。親の方から挨拶をすすんですれば、子供はにかんでる子も笑ってくれる。</p>
<p>○公民館などで子供の接し方、ほめ方、しかり方など具体的に話しをしていただける父母、そして祖父母が誰も参加して聞ける自由参加で講演会など開いて頂けるようになればいいなと思います。○公民館などで親子卓球などを自由参加ではいかがでしょうか。</p>
<p>○子供達が安心して遊べる施設(公園等)が町内に1つはあっていい気もします。○地域の公民館等の子供達の行事の中で地域の人たちとのふれあいの場をもうけてみてはどうでしょうか。○地域の公民館で、月一回位、小さな幼児(乳幼児)の身長、体重を測定し、その場で、子育ての相談があってもいいのでは。自分の頃は保健センターに行っていました。碧南市でも遠い方から来る人もいるし、近くにそういう場があればお母さん同志、子供同志も仲よくなれるのでは。</p>
<p>家の近くに遊具がある公園がほしい。</p>
<p>現在は何処も同じだと思いますが、遊び場がない為、ゲーム等に走ってしまうので今の子は遊びを知らない。その為、遊び場の提供が必要だと思う。年齢に関係なく、地域の子供と一緒に遊べ、交遊関係がたもてる様になるのではないのでしょうか。</p>
<p>○一人で子育てに悩んでいる母親は実際世間が思っているより多いと思います。自分もその一人でした。そんな母親達が気軽に相談したり、参加できるサークルなどの紹介を市がもっと積極的にしてほしい。○碧南の公園は他の市町の公園よりも管理が不十分だと思います。犬のフン、ゴミ、空き缶、ペットボトルが落ちていたり、草が伸び放題だったりなど。使用する側も悪い点はありますが市側ももっとしっかり管理して頂きたい。</p>
<p>○私にも今、小学校入学前の子供がおり、時々、子供が外で遊びたいと言っては、近場の公園へ行っては、遊ばせていますが、公園内にゴミ、犬のフン、ガラス、空き缶など、危ない物が散乱しています。○私も子供達がケガをしてはいけないと思い、子供を遊ばせながら拾い集めて自宅へ持ち帰っています。○少子化の現代、子供達は外で遊ぶ事が少なくなったとはいえ、時々お孫さんを連れて、おじいさん、おばあさん、就園前の子供、赤ちゃんをつれて散歩している人も見受けられます。利用する人のモラル、マナーも問題ですが、幼い子供達が安心して遊べる環境を整えて下さい。又、公園内に幼い子供が遊べる遊具も少ないことや、自然ともっとふれあえる空間場所があればと思う時もあります。</p>
<p>遊び、スポーツを通して人の輪、楽しむ事を伝えたい。</p>
<p>子供が楽しく、のびのびと遊べる公園にしてほしい。</p>
<p>核家族が増え、1人で初めての子育てに悩み苦しむお母さんが自宅にとじこもってしまうのを防ぐ為、気軽に相談にのったり、話しを聞く事だけでも心が軽くなり、明るく子育てを続ける事ができる様、電話相談や家庭訪問などをして地域の子育てのお手伝いができたらいいと思います。そういう機会がある事を保健センターに健診に行った時に子育て中のお母さんに伝えるのもいいかと思います。</p>
<p>地区内でも小さな単位で行事(オリエンテーリング、軽スポーツ等)を行って、町内のつながりを深くする。</p>
<p>地球の温暖化防止に小さな頃から関心を示せるような心を持った子育てに少しでも協力をしていきたい。</p>
<p>熊野神社のお祭り行列に参加させてあげたい(大浜地区に限らず)。</p>
<p>子育てに悩んでいる人は性格的に人との接触を嫌う傾向にあると思う。周りに聞けばよいのに、聞けない。そんな状況を『お隣りさんからの声かけ』をすることにより、会話が生れるような気がする。会話する中から年寄りの経験談が子育ての参考になるのでは。</p>
<p>私の家の近所では同年又は近い年令の子のいる家が5軒あります。保育園の時代から現在に至るまで 20 年近くになりますが、毎年夏は焼肉パーティ、冬は年越しを必ず5軒でしています。家は順番で回ります。思い返せば子どもの運動会を見学し意気投合、会食(夕食)したことが始まりでした。初めは3軒でしたが、仲間が加わり今では5軒です。小さい頃は家で悪いことをして叱られた子どもが隣の家にあがりこんで叱られたことまったく忘れ遊んでいたことや、夏に流しそうめんを食べたあとと花火をして遊んだり、思い出はつきません。今ではそんな子どもたちも結婚した子もいます。こんな近所づきあいをしている所もまだ碧南にはあることが自慢です。又こんな地域が増えていったら子育てに悩むお母さんも減るのではないかと思います。是非、地域、そして隣近所とのつきあいをもう一度見直してほしいと思います。</p>

自 由 意 見
<p>発達障害の子を持つ母親です。当時、適性学級が2校しかない頃で、兄弟別々の学区外の小・中学に通ってました。学校内では普通学級の同級生との交流はありましたが、地区での交流は全くない状態でした。現在はどの学校にも適性学級ができ、「地域で」という事で発達障害の子も当り前のようについて、偏見もなく一緒に学校生活を送る事ができ、自然の形だと思います。同年代の子供達の仲間作りも大切だと思いますが、地域での行事を通して、お年寄りや障害者とも楽しく接する機会があれば小さい頃から「思いやり」や「やさしさ」など学校で学べない事なども自然に身につく事も多くあると思います。</p>
<p>気になること:塾に通わされる子供が多すぎるように思います。経済的にも負担ではないのでしょうか。長時間 学校に通うのですから、学校以外では遊んだり家族との触れあいを重視すべきだと思います。</p>
<p>大浜地区においては、本当に高齢化が進んでいます。お年寄りが歩いていても安心な町を作ることが子育て支援につながるのではないのでしょうか。ゆっくりの流れる時間を子供も共有して、挨拶話などできる町が理想で、夕涼みをしていても良い場所、皆が雑談できる、気楽な場所作り(立派な建物でなくてよい)をする。お年寄りも子供も歩いたり、飛んだり跳ねたり、路地に車を入れない活動もすると良いのかもしれない。年寄りの意識改革(勉強会)空き家でくじ屋さんを復活させてはどうか。</p>
<p>最近、碧南市に転入して来たため、地域の事はよく分かりませんが、アウトドア・スポーツの指導等でお手伝いできればと思います。</p>
<p>近所通しの子供達が、体を自由に動かし、安心して遊べる環境が出来ると良い。</p>
<p>私は6歳(4月より小学校入学)と3歳(保育園通園中)の2人の子を持っています。このアンケートを読ませて頂きまして、「“子育て”を地域の人達と一緒に」と書かれています。夫婦共働きで子供と4人暮らしの私達にとって現実的に困っていることが多々ありますので、この場をお借りして聞いていただければと思います。○保健センターで行われる予防接種や健康診断がすべて平日について、平日に行われるということは、主人か私どちらかが仕事を休んで連れていかなければなりません。子供が熱を出せば、保育園へは行けないので、その度に仕事を休まなければならない私たちにとっては、とても負担です。土・日に開催が難しいのであれば、病院でも受けられるなどの対応をお願いしたいです。○保育園では保育時間が19時まで、学童保育は18時までについて、上の子が4月より小学校入学なので、現在学童へ申込中(結果は2月末でないといけない)なのですが、今後、上の子が学童へ入れてもらえることになるとすると、預かってもらえるのは18時までなのです。下の子はひきつづき、保育園で預かってもらえるので、19時までみて頂けるのですが、上の子を18時までしかみてもらえないとなると、残業が15分・最大30分しかできません。突発で17時ごろ仕事が多々入る私としては、保育園同様19時まで子供を預かっていただきたいと切に願っております。会社の同僚の話によると、刈谷市では学童で18時半まで預かってくれる、とのこと。また早朝も預かってもらえないので、平日はもとより夏休みの期間もせめて7時半から預かっていただけないと会社が始まる8時には到底間にあいません。とにかく学童については、切に検討をお願いしたいと思います。何卒よろしくお願い致します。</p>
<p>次世代の育成支援と言う意味でお願いがあります。共働きの家庭で子育てに対しての一番の不安は、仕事と子育ての両立が難しいところに有ります。例えば保育園や学童の預かってもらう時間に制限があり保育園は7時30分からで子供を送って会社へ行こうと思うと、ギリギリになってしまいます。会社の場所によっては引越しを検討しなければなりません。今年から小学校に上がる子供がいます。7時30分に学校へ置いて会社へ行かなければなりません。小学校1年生が朝早くから学校でひとりきりになってしまうのではないかと、今からとても心配しています。名古屋の方では定年を迎えられた方などが市に登録して、子供が病気になった時あるいは子供の送迎などで困った時には支援してくれる地域が有ります。そういった支援に重点を置いて今後の取組みを考えてもらいたいと心から願います。市民が安心して子育て、仕事出来る地域作りを是非願います。</p>
<p>○平成19年度小学校新入学児童保護者説明会にて、碧南市教育相談員のご講話がありました。「軽度発達障害について」という演題でした。現代このような子供たちが多いということ、祖父母や地域の方にも知らせたい。その場を考えてほしい。○昔の遊びでコマまわし、竹とんぼなどの交流はもっと増やしてもいいと思います。</p>
<p>子育ては親育てが現代では先に必要です。母親カウンセリングを身近に行える機会を作ることが大事。優秀なカウンセリング要員を市に登録し、相談にのり、そこから生まれた結果や努力の方向付けを、この要員以外の人で手助けしていくシステム作りが良いと考えます。</p>
<p>昔は集団通学だったので、自然と近所の人達(お母さん)と子どもの話をする機会があった。今、棚尾地区は集団登校等ないので、安全も含めてあったらいいと思う。</p>
<p>盆踊りやお祭など残してもらいたいです。子供と一緒に参加したいです。</p>

自 由 意 見
○子供達が自ら積極的に参加したくなるような地域行事を考える必要がある。○マンモスプールのような、巨大施設の復活。
大きな公園でなく、小さな広場がたくさんあっちこちにあって、子供達が家の中でなく、外で遊ぶ時間を増やすことが必要だと思います。
○子供の年齢に大人が合わせる事が必要。○礼儀作法を大人より実行して自然に子供に慣習として出来るようにする。○叱かる時は、目を見て、親身になって行なう。○あまり昔はこうだったとか自分が育った環境面を表にださない。(現在と昔は違う)押しつけない。
お祭りへの参加→世代間の自然なつながり作り。
現在住んでいる周辺では子供達の元気な声や姿がほとんど見られない。老人世帯ばかり、これも少子化のせいでしょう。昔のように、木登りや、走りまわる元気な子供達かつ又、おしゃべりしながら、わいわい言いながら通学等する子供等の姿が見られる地域になるとうれしいです。
経済と環境は反比例だと思います。子供のために美しい地球を守るために、早くお金がすべてという価値をやめること。そのために行くことは、便利快適をあまり求めないこと。比較競争をやめること。早くみんなに伝えた方が良いでしょう。
市は地域の人が子供たちと関われる機会を作るよう努力してほしい。また、親も積極的にボランティア参加すべきだと思います。
ディズニーランドのように夢のあるテーマパークをつくってほしい。遊園地ではなく総合ランドとして創造力や想像力がわき出るような、スケールの大きな遊び場がほしい。入場券もお金のみならず、ボランティアやエコポイントの積み重ねをして、お金に変わるしくみをつくり、世の中に役に立つことを有意義とするシステムをつくって人のために働くことやボランティアの精神を子ども頃から養いたい。
時間に余裕があれば子育てのお手伝いをしてあげたい。又、子どもたちに気軽に声かけられる地域になってほしい。
○他人の子供を大声で叱れる雰囲気のある地域にしたい。○子供に声を掛けると逃げ出すように教育する現状の改革が必要だと思います。
昔、PTAの役員をしている時、夏休み中巡視活動をしていて外で遊んでいる子供をほとんどみかけなかった。現在、公園などの遊具での事故が起きており、自治体が撤去して、なおさら遊ぶ場所も少なくなってきた。遊具不具合の事故の責任はあると思うが、子供の不注意での事故はそれぞれの責任でいいと思う。学校でのたこ作り大会もいいかなと思います。
地域行事の一環として、軽スポーツ、宝ゲーム遊び等年間を通じ、期間を設け計画してはどうかと思う(子供、父母等気軽に参加、交流できる催し物)。
今の子供は外で遊ぶという思い出はないように思います。遊ぶ場所も少ないし、子供自体が忙しいというのがありますが、遊ぶといえば、部屋の中でゲーム。さびしい感じがします。私は、スポーツが好きなのでスポーツをやって友達の和を深めたり他の地域の子供達と交流を深めたりしてほしいです。
祭りは世代を超えて人と接する良い機会だと思う。特に昔からあるお祭りは今後も続けてほしいです。
子供を育てる親に時間をもっとあたえる為、土、日、祝日休みや労働時間を減らして子供と一緒にいられる時間を増やす。
半田市の例ですが、『おもちゃ図書館』というボランティアグループがあります。半田市の中央公民館の保育室でおもちゃの貸し出しを行っています。貸し出し日に、乳幼児を連れて若いお母さんたちが集まって来ます。このお母さんたちは、貸し出しをしている中高年の婦人たちとことばを交し、回を重ねるごとに親しくなっていきます。また若いお母さん同士の交流もそこで自然に生まれています。乳幼児をかかえた核家族の若いお母さんたちは、身近に相談する相手もなく、育児に不安を感じておられます。こういう人たちが気楽に集まって話し合える場が必要です。
看護師の経験を生かしたお手伝いができたら良いと思う。
○人間も生物の「群れ」の中に安定がある。「群れて共に遊ぶ経験」が、子供の成長にとって一番大切と思う。○ボーイスカウトの経験があるのでキャンプのお手伝いなどは出来る。○屋外で、自然に触れつつ一緒に過ごすことなら何でも良いと思います。
私が1番気になるのが、幼稚園、保育園や小中高校生のイジメで、その状況を知った時、親が行動するのは当たり前だけど、その周りの保護者も一緒になって行動を起こさないといけないと思う。いじめられている子の親以上に他の人が考えなくてはいけない事です。
気楽に親子が集まれる公園の整備(管理人がいること)。
外で遊ぶ。
○子供達は将来の宝であり、地域全体支え合い育てるのが一番よいと思います。○今年から団塊世代の人達が定年退職されるので、その人達の能力を有効に活用してはどうか。公民館等で(竹とんぼ、こま、竹馬、水鉄砲などの)遊び道具づくりや放課後の居場所づくり。

自 由 意 見
地域の美化活動など、親子で参加できる催し物を、企画し、行政や町内で、参加しやすい場を増やす。
○平和であることの大切さ(戦争のない大切さ)○命の大切さを、教えて欲しい。
西尾市の発明クラブで、土曜日にボランティアで参加して子供達と楽しくやっています。
知らない人とは話さない、近づかない風潮がある。それは隣の子供ですら、挨拶もしない世間、世相がそうしてきたのだろう。子供と大人に大きな壁がある。子供と大人がもっと触れ合える場面を作らねば。それは、例えば、公園の草取り、道路の缶拾い、〇〇までの歩こう会、老人ホーム慰問、〇〇会社の見学、〇〇製作などが機会といえるのでは無いか、あまり大きなことより小さな事で続けることが良いのでは。
犬の散歩などで様々な人と挨拶することで結構発見がある。
碧南市に引っ越してきて3年たちますが、市をあげてのイベントは“元気ッス！”しかイメージが沸きません。昨年は50周年行事等により色々なことがありましたが、その年だけでなく、何か“元気ッス！”以外でも盛り上がるものが欲しい。というのが実感です！では何がいいかという“パツ”とは思いつきませんが…例えば市民大運動会等といった各地域の枠をこえたものも必要ではないのでしょうか。その運動会に向けた各地域の練習や地区大会等も盛りあがるような気がします。
子ども会の支援を拡大すると良いと思う
(例)大人と子供の自然に交流出来る体育館でのママさんバレー等を子ども達も使用している。時間に行なう等の大人の姿を見せると良いと思います。
もっと子供もが外で遊ばなくてははいけない。それによって友だちが出来てよいと思う。悪い事がなくなると思う。
もっと子供もが外で遊ばなくてははいけない。それにより友だちが出てよいと思う。悪い事がなくなると思う。
(発明クラブ)子供達は多くの基礎知識を学校で学んでいきます。ものづくり一つをとっても知識と知恵を結びつける機会と思う。原理や法則とむつかしい事も、実際使える物に置換る楽しさを知る事で興味が増のではと思う。原理や法則が色々な事にも当てはめて考えられる様に成ると創造力豊かな人材に育つと思う。少しでも協力出来ればと！
子育て中のお母さんのストレスをいやす、親子ストレッチ・親子体操サークルを地域で企画し子育て中の悩み等を気軽に話し合える場作りをしたいです。
団塊世代の人達が本年より大量に退職されるこの人達を地域の中で活用してはどうか。60歳といっても若々しく元気。(ものづくり広場、子供達の居場所づくりなど)
○子供が安全に集まれる場所が少ない又有ってもメンテナンスが悪く使われなくなっていく。親が安心して場所(公園、公民館)の充実が必要。○学校の施設を自由に使える様にする。規制が多すぎないか？一部のスポーツに片寄ってないか。○子供が参加出来るイベントを定期的に企画する(予算と人が必要)。
○退職したら時間もとれるので地域活動を行う。○昔の遊びなど教えたい。
昔ながらのお祭りがいい。
大人と子供が一緒にあそぶ所をもっと作ってほしい。
外でしか遊ぶ事がなかったが、今は外に出るのではなく友達の家等で遊んでいる為、違う年齢の子とはコミュニケーションが無くなっていると思う。
イルミネーションによる夜間での道路照明をしています(毎年11月中旬～翌年1月末)。
夏休みにすごせるプールを復活させてほしい(周辺での水あそびでのコミュニケーション場がない)。
まず、家族で共通の趣味を見つけて、会話する。
子供の個性を十分生かせるような可能性あるセンターがあると良いと思う。
子供の生き方、モラル、道徳を学校にまかせたり押しついたりする親がいるが、一番必要なのは親だと思います。そこをふまえて地域学校で活動するのは必要だと思います。しかし今のPTA役員、町内会長は、仕事、残業、地域の仕事でいっぱいなので、押しつけボランティアはやめてくださるようお願いいたします。
自分の体験を子供達に話す機会。昔は川で洗濯をしていた等。
地区の小さなお社とかお寺などで子供達が集り、縄飛をしたり鬼ごっこしたりしたものでした。

自 由 意 見

明治の両親が作った兄弟は女6人男2人。長姉達が母親代りに妹、弟達の面倒を見てくれた。但し兄弟喧嘩は口で暴力は一切しなかった。私は6人姉妹の4番目に男として生まれ、父親が大喜びしたと聞く。今の世の中だと私は生れなかった。昭和16年12月8日米国と開戦したが初戦の勝ち戦もまもなく負け戦となり、中学生も勉強STOP事雷工場に半年以上昭和19年9月志願して陸軍の船舶特別幹部候補生として四国小豆島の暁部隊に一等兵として入隊4ヶ月の特訓で上等兵、昭和20年3月九州の天草島に転属する(二期生として)ベニヤ板製の長さ6m、ガソリンエンジン付一人乗りで爆雷1ヶを乗せて夜間米艦に突入特攻隊員となる。一期生は私達より半年早く入隊(1800名)フィリピン、沖縄戦で1000余名戦死二期生の私達は広島原爆で100余名2期生は長男が多かったのか戦後判明した事実です。兵長で復員した。(当時どこの家も兄弟多く5-6名は当たり前だった貧しい日本だった。多い家は1ダース生むと東條総理より表彰された時代、一人っ子で甘やかされた今の世の中では中国近隣諸国は笑っているのが実情と思う)

神社で木登りをした。

神社で石けりをした。

お祭りの屋台を色々回った。

近所の子供達が集って週に一度近所を掃除した位。今は車の時代だから。(そのような似たような行為は現在もやっているかな?)隣近所の方達に大変喜んでいただきました。

○学校が終ると近くのお寺の境内で付近の子達とブツケ、軍人合せをして遊んだ。○近所の友達と水鉄砲等を作って水をかけ合ったり、紙鉄砲、杉鉄砲で打ち合った。○学校の運動場や、お寺の境内で友達とみりん玉(カチン玉)で遊んだ。○友達皆が竹トンボを作り、飛ばし合いをしたり、竹馬をそれぞれ作り、それに乗って、高さを競ったり走り競争もした。

昔の遊びは今の子供には分らないです。自分は83歳になるので、地区の事も何も出来ないのも、もう少し若ければ子供の世話も出来るでしょうが、自分の事が精一杯です。上記に書いた遊びの名前も知らない事と思います。

昔は西の海で海水浴ができた。

昭和15年頃に出た歌かと思いますが題名はよくおぼえていませんが、隣組の歌だったか。トントントカラリと隣組格子を開ければ顔なじみ廻して頂戴かいらん板助けられたり助けたりーの当時の歌詞では物余りの現代に合わないかも知れませんが思いやりの心助け合いの気持ちは豊かだった様に思います。歌詞を少し変えて口ずさんだりしたら如何でしょうか。スピード上げて突走するのではなく、少しゆっくり心豊かに思いやりを持って人生、子育て(金、品)でなく愛情です。

子供の頃は大きな木のそばが遊び場でした。色々遊びに活用したものです。

○昔は神明神社(刈谷地区)で、7~8人が集まりかくれんぼをして、仲間同志の連帯感を高めた。○昔は仲間4~5人で凧作りをして、神明公園(刈谷)で凧上げをして競い合った。

スポーツを通じ、子供達同士楽しく遊んだ思い出がある。特に団体スポーツで、野球、サッカー、バレーなど。

昔からある毎月3日の毘沙門さんには子供のころよく行きました。ねり飴や飴細工の飴を買ってもらったことを覚えています。飴細工は、おじさんが白い飴をのぼしたりはさみで切ったりして鳥を作ってはしの先につけてくれるのですが、その手早さは今思うとすごいわざのような気がします。

○昔は七夕飾りを公民館で作った。○竹トンボを公民館で作った。○竹馬を公民館で作った。

昔隣近所の年令関係無く、仲間同志で、竹で刀をつくりチャンバラごっこをよくした。その時、絶対に目や、頭など危ない所へは攻撃しなかった。又、攻撃を受けた時に痛みなど良くわかっていたので、攻撃をする時は限度を自然とわかっていた様な気がする。

現在では無理かも知れないが、昔池や小川でドロンコになってサカナ、ザリガニ、色んな物を取って、たのしくあそべた。今ではそんな所が地域にないのが残念に思う。

私達の子どもの頃は、となり近所のおじさん、おばさん誰でも声を掛けてくれました。今思うと、とても大人を身近に感じる事が出来た時代だと思います。1人でいても少し位遅くなくても人がこわいとか不安になる事がなかったように思うし、安全で安心な世の中だったのかなと思います。

自分で遊びを考えて昔は遊んだ。例えば竹トンボ、なわとびなど。みんなで話合が出来て和ができて楽しかった

昔はみんなで遊びを考えて遊んだ。竹トンボ、竹馬、ケンケン、コマでみんな楽しく和になって面白かった。女の子はお手玉、なわとび、おはじき等みんなで遊んだ。

小川がいっぱいあって、そこでめだかやふなをとって遊んだ。

応仁寺の石段でジャンケン遊び。○グーは1段。ピーは2段。パーは5段。など決めて誰が早く登り降り出来るかの競争 ○それに手毬をつけて登り降りもしました。(小学校が応仁寺の境内にありましたので) ○雨の日は屋内でお手玉をしたり、かくれんぼなどで遊びました。(テレビもゲームも無い時代でしたから)夫婦松の根っこで、ままごと遊びもしました。

自 由 意 見
かくれんぼ、影踏み。
年の違う子どもたちが自然に集まる所があつたれでも一緒に遊びに参加できる所がありました。となりの子供のいない家にもよく行って遊んでもらったりしていました。
昔、八柱神社で(たいこ橋で)遊んだ。今は危険だからということで囲われている。確かに怪我をする危険もあるが、子供が冒険できる場所が減ってしまうのは悲しいという思いもある。
○まりつき ○ゲタかくし
メンコ・コマ。
六年生の時学校で草履を作っていました。一・二年の頃はお手玉を作った。
昔は年のはばが7歳位離れていても、多数と一緒に遊びました。男の子も女の子も一緒に鬼ごっこしたり、缶けりをしました。年上の子にいじわるされた事はありませんでした。今の子供は兄弟が少ないので、多数と一緒に遊ぶ機会があると良いと思います。簡単な遊びの方がみんなで遊べて楽しいと思います。
○神社や公園で“じんどりあそび”や“かくれんぼ”“缶けり”を小学校の低学年～高学年と一緒に遊んだ。その中で、上下関係や色々な事を知らず知らずのうちに覚えていった。
私たちが子育ての時期はいわゆる公園デビューならぬ神社デビューでした。20～30軒の家庭の親子が、朝から晩まで誰かが遊びに来ていました。ピーク時間は朝から正午でいったん昼食に帰り、昼からは昼寝組や用事を足したりするので散々とはしていました。しかし、夕方から日没までまた賑わっていました。そこは、親たちの井戸端会議場。子供たちの社交の場でもあったのです。一緒に遊び、我慢することや、譲り合うこと競い合うこと等々学びました。なによりも親子で、地域の和(輪)ができました。私はいく組かの親子と一緒に遊べる場、機会があつたらいいと思います。
昔は、神社やお寺の庭でまりつきをしたり、お手玉をして皆となかよく遊びました。昔は、皆であつまつておてだまを作りました。
○ごえん橋で昔ハゼ釣りをした。○水路でザリガニ、どじょうとりをした。
○神社境内での木登り。○川・魚とり、釣り
○昔は竹馬を作って乗りました。初めは低いのに乗り、うまくなると高いのに乗りました。○昔はコマをまわして、缶のフタに乗せ、コマがとまるまで走りました。○昔はガラス玉の当てあいを行いました。
昔はひな祭りにはいがまんじゅうを作ったり、春分の日や秋分の日にはぼたんもちを作ったりした。年の終りにはもちをついたりした。時時の楽しみがあった。
昔は竹鉄砲を作ったぞ。
昔、隣のお寺でブチンとかビー玉遊びをした思い出があります。昔、お祭りの夜店で竹のようかんを食べたこと。
昭和 20～29 年までの学生生活の中で、休日に保育園児から中学三年生まで神社に集りリーダーを中心に色々な遊びをした思い出があった。
神社でかくれんぼ。
遊び場は近くの神社など、いた場所があればどこでも遊んでいた。鬼ごっこ、ドッジボールなどをした。
おはじき、メンコ、あやとり、石けりをした。
おはじき、メンコ、あやとり、石けりをした。
○昔は広場で缶けり、かくれんぼ、石けりなどして遊んだよ。○家の中では、おてだま遊び、きせかえ人形で遊びました。
○昔は隣のおにいちゃんやおじさん達と一緒にドッジボールやソフトボールをして遊び楽しかった。○学年の上の子達ともよく遊んだ。
○神社でかくれんぼや、男の子は木登りをして遊んだ。○子供の頃隣のおばあちゃんが、一緒に遊んでくれた。
昔は家の外ではゴム飛び、家の中ではお手玉や竹流しをして遊びました。
昔は秋葉神社で椎の木に登って、実をとって食べた。昔は笹船を作って遊んだ。下駄を蹴って、表か裏で天候を占った。昔の村まつりは海ほおづきを買ってならした。村まつりでニッキの木を買ってかんだ。小さい子供4～5才の頃、絵伝をみて、嘘をつくとも閻魔さまに舌を抜かれるといわれた。自然の中(外)で遊ぶことを知らせる。自然の美しさを見せる。自然を相手に遊ぶ。平たい石を投げて向側のマスに入れる。
○パンキー遊び ○五寸くぎを地面にさして陣取り遊び
○川で魚つかみをした。しじみを取った。○野原でたこあげをした。○お寺の庭でかくれんぼをした。
○神社の広場で輪投げをして楽しむ ○神社の広場で鬼ごっこ遊び ○神社の広場でかくれんぼ ○家のひだまりで糸取りごっこ ○お手玉づくりや折り紙 ○昔ばなしの語り

自 由 意 見
昔は田んぼに“レンゲの花”が沢山咲いていましたよ。
ビー玉、たこ揚げ、かくれんぼ、野球
私が子供の頃、冬はよく路地でドンマしたり、最初の1人が立っていて、次々に馬をつくり、ジャンケンで勝った方の子等が背中に乗るのです。初めの子はできるだけ奥の方へとんでるのがコツ。最後の方でとぶと馬から落ちないように前の子の体にしがみついて、寒さもふつとび、楽しかったなー。缶ケリもよくしました。何しろ子供がいつもいっぱいいて年の多いのから小さいのまで、一緒になってよく遊びました。女の子は寺社の庭で陣地とりのような遊びもよくやったな。今は寺社も砂利が敷いてあってそんな遊びもできませんね。
○空き缶に穴を開けて“はなを”を付けてそれをはくカップン ○ゴムとび
昔は友達の家を回りながら押し花を作ったり、ゴム飛びなどをした。
竹馬、水鉄砲、お手玉
昔はお寺で近所の子供達で良く遊んだ(大きい子から小さい子まで仲良く遊んだ)。
昔は、神社で缶けりなど鬼ごっこ、かくれんぼとかして遊びました。
名古屋市出身ですが、碧南でもあると思うのですが「子供会」がさかんで、ソフトボール大会歩け歩けなんとかとかか参加しました。
紙芝居が来たり、ままごとなど近くの子供達と一緒にあそんだ。
太陽の下で竹トンボ、竹馬を作り外で遊ぶこと
戦中で小学5、6年生は食糧増産で校庭を耕して芋を植えたり豚を育てる為、6年生全員で班に別れて豚のエサを煮たり豚舎の掃除をしたり、つらくとも楽しいと云った毎日だった。
私は田舎育ちです。子供の頃は家の前の道路に皆集まって話をしたり、特にかくれんぼをよくしていたように思います。女性はなわ飛びをしていました。又、糸取り、ぬり絵等もした。
昔は公園らしきものが整備されてなかったので、もっぱら遊び場は神社やお寺の境内であった。○近所の同年代の友達と空缶で缶けりをよくした。○ビー玉ゲーム。○5寸クギを使つての陣取りゲーム。○近所の家と家の路地(狭い)通り抜け探険ごっこ。(近所の家族構成もよく知っていたし、悪い事をするとかこのお婆さんが怖い等々も知っていた。) ○レンガで「わな」を作って“すずめ”取り、畑の留池で「ふな、めだか」取り、自然と遊び道具は自分達で工夫して作って遊んだ。
昔は池や川で釣りが出来た。
○正月前には親子三世代で餅つきをして一体感が深まった。○近所のお年寄と将棋を打ちながら体験を聞かせてもらった。○神社、広場にて紙芝居が来て菓子を食べながら見ていた事が今でも思い出される。
お祭りには、近所の子供たちが集まり子供相撲や金魚すくいなどして楽しくすごしました。
缶蹴り、竹トンボ、竹馬等の遊びをしていた。
通学地域(隣近所)の年令層の離れた子供たちが集い(近くの寺など)色々な遊びをしたり、時には怪我をした時の対応などを現地現物で学んだりし、枠にとらわれない自然教育の場がありました。今もありますが、「大浜寺町ウォーキング」に参加した時は、幼少の頃を懐想し、古き良い思い出にひたっていました。今の子供達に学校生活以外の地域生活において心に残るような思い出があるのだろうかできるのか疑問に思います。
○子供会で行った林間学校や海水浴は楽しかった。○子供会で行ったきもだめしや夏の映画会も大変楽しかった。
昔は手作りのおもちゃ(竹トンボ、竹馬)でよく遊んだ。伝承していく必要を感じる。
まん中の子が幼稚園の時の誕生日会でのこと。親が誕生日会に参加して一緒に写真をとったりケーキを食べたりします。年中さんの時 下の子が一歳で、できたら連れていきたくないと思いました。たまには まん中の子のためだけにとの思いからです。しかし、私の父母は仕事をしていたし、主人の父母は遠くに住んでいます。そのような時「一時預り」の保育園に預けることができました。正当理由(葬式とか)がないと預かってもらえないのですが、特別に預かってもらえました。下の子にはかわいそうとは思いましたが、まん中の子とのいい思い出です。
昔は自然がいっぱいで虫とかがいて、学校の帰り道がいい勉強だった。(いい事も悪い事も自然から教わった)
○遊び:近くの空地、人数に応じた草野球。道具はテニスボールだけ、ボールは平手打ち。人数に応じ、三角野球なるファースト、セカンド、でサードなしの塁型。○手作りおもちゃ:竹で水鉄砲、竹の枝で杉の実の杉鉄砲等。木の糸巻きと輪ゴムを動力にしたおもちゃ。

自 由 意 見
昔は近くの神社で缶けりとか、だんご取りとかゴム飛びとか、かかし。○足元から笠までの順番で石かタイルを置く。うまく先に笠までいった人が勝ち。ゲームに参加する人のタイルか石を置く。だんご取り:ジャンケンで勝ったら自分の足をコンパスがわりにして円を(地面)書いていき、オセロの様にして自分の陣地を増やしていく。
○近くにザリガニ釣りが出来る池があった。○神社で野球をやっていた。○知らない子のグループともいろんな遊びが出来た。○マンモスプールに友達どうして1日中遊んでいた。なくなってしまったのは、かなりショック。○今の遊び場は、安全の為とはいえ、規制が多すぎると思う。
昔は、玉津浦グラウンドの横に水が流れていてそこには、ザリガニやメダカがたくさんいました。そこに友達数人とバケツ、竹にスルメを付けて持って行って、生き物をつかみ家で飼ったり、学校で観察したりしていた。
空き地でキックベースをした。
○昔は埋め立て地で、子供の背丈より少し大き目の雑草の中に、草を踏みつぶして通り道をつくり、秘密基地にして、ダンボールなどを敷いて遊びました。○近所の酒屋のおじいさんが仕事の配達と一緒に連れて行ってくれました。○近所の塩屋のおばさんの家でよく遊ばせてもらいました。その家には、ニワトリ小屋があり産んだ卵を見せてもらったり、塩袋で紙袋、広告の紙で封筒を作ったりして遊んでいました。○昔は自分の住んでいる地域以外の公園へ自転車で沢山行きました。遊んだことのない遊具があったり、気分が違って魅力があり、うらやましかった。
○昔はお正月の元旦に隣人の男子の子供が年始の挨拶に来たりしていた。○節分の時も隣人と一緒にやっていた。
子どもの頃は近所の友達と大勢で、外で本当によく遊びました。3・4月→うど・わらび・ぜんまい採り。5月→いちご、木いちごつみ。6～9月→川で魚をとったり泳いだり。10・11月→きのこや木クラゲとり。12～2月→彼岸花の葉の上をそりですべり降りる
公園で三角ベースの野球。町内を使つてのオニゴッコ。コマを手に乗せてのカケッコ。
昔は自営業が多く、親子の会話もあった。またサラリーマンの父親も休日にソフトのコーチとか出来る時間があつたが、今は休日にそんな余力はない。親世代で、ボランティアで時間を作れる人がいるのだろうか。特に賃貸やマンション族と地元住民との生活パターンが違い過ぎ、偏った人に負担とならないか。
かんれんぼ、缶蹴り、フナ釣り、竹トンボ、竹馬で遊んだ。
昔は同じ学校の子どもたちと神社で、かくれんぼなど大勢で遊んだ。
私の子供時代の遊びは、魚釣り、ポンツク、山をかけ回る、また、機見の製作、てっぽう、竹トンボ、鳥のワナなどを自分で考えて作っていた。
ビー玉、パンキーなど負けると取られてしまう遊びに夢中になり、次には絶対勝つぞと真剣に考えて色々なやり方で試みた。又、コマを回して小さな皿に乗せるなど、遊びを通じて体力、知力、考える力を自然に身につけた。
昔はよく近所のお家に遊びに行った。もちつき等近所数軒で集まってやっていた。
○冬は神社等で枯葉を集め、焼いもつくり。○秋は椎の実を集め、フライパンで炒め、椎の実の中味を食べた。季節に応じた、遊び、食べもの取り、食べた。
昔、自分が作ったタコを田んぼであげた(とばしたってコト。)
○私の育った田舎(豊田市下山田代町)では秋葉神社で、おしるこ祭りがあり、地域の子供から老人まで住民のほとんどが参加し、参拝後のおしるこ談笑を楽しみにしていた。○私が小学生の頃夏休み日誌(宿題)を近くの檀家寺に小学生が集まって(10～12人)していた。低学年で解らないところは高学年の子供が教え、高学年には帰省中の住職の息子さん(大学生)が、教えてくれていた。(良い意味で子供達に規律ある上下関係ができていた。)
○竹馬、カッポン、トンボ、タコを作った。○こま回しをした。
昔は何もなかったもので、自分達で紙ヒコーキを作ったりして遊んだ。
○子供の頃友達と大浜の上の神社で木と木にゴムのひもをくくりつけゴムとびをしたり缶けりしたりしました。○お祭りにあめ細工が好きで良く並んで買った思い出があります。
○田んぼで野球やサッカーをした。○コマ回しタコ揚げした(正月)
昔はTVゲーム等がなかったので、みんなが公園で野球やドッジボール等をして遊びました。
近くの神社に植木がなく三角ベース等年令の違う仲間と一緒に遊んだ。
出身が北海道の為、冬の雪遊びに思い出が有る。
缶けり、たこあげ 竹で水鉄砲作り、竹とんぼ作り。
自分が小さい時は約束することもなく、近くの神社に集まって、野球、かくれんぼ、鬼ごっこ等をして、仲良く遊んでいた。

自 由 意 見
昔はよく田んぼで、ザリガニやカエルを取って遊んだ ラジコンカーや模型を作って遊んだ。
紙鉄砲を竹と割ばして作り、やつでの実を玉にして遊んだ。
昔は地区の卓球場で、みんなで卓球をして遊んだ。
コマをふたにのせていた。
昔は神社で鬼ごっこやかくれんぼをしました。
○昔は西山神社で野球を行った。○昔はお祭りに、屋台が出た。
公民館などで夏休みの勉強とかした。
昔は外へ出ると近所の子ども達がいって、一緒に遊んだりした。近所の同じ年頃の子どもを持った親同士で、子育ての現状や、悩みを話し合ったり、安心して子どもたちが遊べる地域作りをしたい。
現在は子供同志で遊ぶ姿が見られなくなった。昔は神社や広場で鬼ゴッコやかくれんぼなどして時間を忘れるほど遊び家に帰って親に叱られた思い出がなつかしく思う。又、放課後みんなでドッジボールなどして遊んだが、現在の子供達は勉強に追われ可哀想に思う。勉強も大事だが道德教育を真剣に考えるべきだと思う。
最近子供の姿を外でみかけることがなくなったような気がします。夏休みだとラジオ体操冬休みだとなわとびは、学校の勉強の一環としてやっていたような気がします今はほとんど子供が外で遊んでいることがなくなり、様子がわからない。勉強とかファミコンとか、塾通いとかしているのでしょうかねえ～。
私達の子供の頃は何をしても、みんなで遊んで楽しかった。今の子供はゲーム、テレビで一人でも遊べる。もっと外で元気よくみんなで遊んだらと思う。
昔は室内では、お手玉、外ではなわとびで楽しかったけど、今はゲーム、テレビに遊んでもらっている。
私は寺の住職です。昔は境内で子供達が多勢遊び、ガラスをわられたり、ボールで参拝の方々をあわてさせたり、夏には坪庭で子供達がセミ取りで、しかりとばしていたのですが、今では遠い昔の話となりました。子供が外で遊ばなくなりましたね。子供達に外での遊びが楽しくなる様に。
昔の子供は神社で木登り、虫取り、用水路で魚取りはごく普通であったが、現在はそんな場所は皆無に等しい。又、近所の子供達が仲よく遊ぶ姿もほとんど見ることがない。保育園に入る前の子供に近所の子と遊ばせるよりも、我が子は早く文字を覚えさせるという風潮はほんとうに良いことなのかと思う。私は、お勉強(文字)は小学校から、それ前は子供達で遊ぶルールを覚えさせることが一番大事だと思う。
昔は近所の子供達で家の回りで鬼ごっこ、“海水浴”で遊んでもらった楽しい思い出があります。今の時代は、少子化のせい、か、“危ない”の一言で、親がその機会をなくしている事が多いと思う。
地域の子育て支援の事をよく知らなくて申し訳ないです。子供の頃、お手玉、まりつき、ゴム飛び、縄飛びを数え歌、童謡を唄いながら、友達と遊んだ事を懐かしく思います。それと昔、碧南には海がありましたので魚、貝、カニ、海の生き物を体で感じ触れてきました。今の子供達にも、もっと自然を体で触れて感じてほしいと願います。
○一気に他人の子供と、というのは、入りにくいし、何かあったらと消極的になってしまうので、自分の孫と娘(又は嫁)で何かのゲームに参加するようなものから入っていったらどうかしら。一度やってみると身近に感じられるし、子供そのものに接するのも慣れてきて、又、他の子育て支援上にも参加できるのでと考えています。○フナやメダカ、ザリガニのとれる川づくり楽しかったですよ。○神社の境内で、大きい子、小さい子、一緒にいつも遊びました。親にかまってもらわなくても、楽しかったよ。
昔は保育園に小さい子供達が遊びに行ったりできた自由な場所でもありました。曜日を決めて入園前の子供さんとお母さんが行ける教室があったりすると良いかも知れません。
昔は神社で鞍馬天狗などの映写会や、練飴を練りながら、紙芝居を見たものでした。世の中がすっかり変わり、少子化の中又、安心・安全が優先される中で、子供達同志が外で遊んでいる姿を見ることは少なくなりました。寂しいことです。昔のようになって欲しいとは思いますが、もう少し子供達が自由にのびのびと遊べる場所があればと思います。又、地域の人の中には、色々な特技を持った方がおられると思います。例えば短歌や俳句を作る人、陶芸や木彫り等物作りをする人、昔話の得意な人等々。それぞれの得意な事を通して、地域の子供達とふれ合い、指導出来たら良いのではないかと思います。
同世代の子供ばかりでなく、異世代の子供達と皆が一緒に集まって、鬼ごっこやかくれんぼ、ゴム飛び、缶けり、馬のりなどもよくやったものです。住宅事情などから遊ぶ場所が限られてきている事もありますが、少しでも広場などで思いっきり遊べるといいですね。
家の外で体を使った遊び: 缶けり、コマ廻し、クギの陣とり、ドッジボール・その他もっと元気に遊んでほしい。

自 由 意 見
私も子ども時は神社でよく遊びました。鬼ごっこ、石けり、なわとび、かくれんぼ等暗くなるまで遊びました。今はすべり台・ぶらんこ・鉄棒等が有り、遊びも変わったのだと思い帰って来ました。その時は親と遊ぶ子どもが一人いました。子ども同じで遊ぶ子はいないのかなあと思った。
私達の子供の頃は川や池、田や畑、神社寺等周りすべてが遊び場だった。遊び仲間も年令の差なんて関係なく一日中遊び回りそれらの中から良い事、悪いこと危険なことなどを自然に学習したものです。今日では社会、教育、自然等の環境が変り本来子供の遊び場であるべき場所には「良い子はここであそばない」などの立札が立ったり、何かあればすぐに責任問題になりかねない時代になってしまったのが淋しい限りです。
昔は年長者(小学5～6年生)が低学年者を率いて色々な遊びを教え、子供同志で交流していたが今は殆んど見られないですね。
良い事と悪い事を正しく教える。学校でわら作工を教えてもらった。
○日が暮れるまで学校の運動場で遊んでいた。(缶けり、ドッチボール、ポコペンなど)○勉強も大事だが遊びの中で覚えていくことも色々あるので、小学校の間はたくさん遊んでほしい。
○子育てに悩む親の相談にのったり、お手伝いをしてあげたいです。○昔はよくゴム跳びをしました…とても楽しかった思い出があります。友だちとまずゴムをあみ、きれいなゴムで作ると遊ぶ時も楽しかった気がします。○同居の両親はどちらかと言えば、家にこもりがちです。子どもたちと楽しくすごせる場があればと思っています。
一日中砂浜、海で毎日泳いでいた。よい岸があり遠浅になると貝あさりを楽しんだ。小さい時の思い出がなつかしい。小学校に入ること水泳選手に選ばれるようになった。大きな木がある神社やお寺ばかりでなく、ちょっとした町の中の大木が多くすずしげな音をさせていた。木登りもよくした。山のない碧南はせめて30㎡おきに1本の大木があると緑豊かな街づくりになる。今ある木は家の建築のためすぐ切る人がいるが、木だけは残して50年、100年大切にしていける法律でもつくってほしいと願っている。自転車道路は歩道と別にあると心豊かなサイクリングになる。また歩道を2倍、3倍にすれば、人が豊かな気持ちで街にのぞめる。のんびり人間中心の道路づくりをすれば、子どもたちも安心して道くさできると思う。
私の子供の時は神社でドッチボール、かくれんぼ、陣取り、ゴムとびなど皆で楽しく遊んだものです。今の子供達はゲームばかりで身を動かすことが少ないと思います。
私が小学校の頃、油ヶ淵のほとりで水遊びが出来ました。又春先から夏にかけて、シジミが取れました。夏はよく水およぎをしたものです。今では水がきたなく出来たものでは有りません。水をきれいにしもどのように水あそびが出来たらと思います。
○昔は川で、ふなやめだかなどをつかんで遊んだ。○昔は隣のお兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に外で元気に遊んだ。○神社でせみ取りや石けりをして遊んだ。○お祭りで出店がたくさん出ているのが楽しかった。○川で、しじみ取りをした。○地域で、年齢の違う子供達と一緒に遊べる場所と、相手をする大人、老人が共にすごせる時間があると良いと思う。
私の子供の頃は、現在のように多種多様な遊び道具もなく、親、兄、姉、地域の子供、大人達が色々と考えたり作ったり、昔からあった遊び等を教えてくれたりして、皆仲よく遊んだものです。夏まつり、盆おどり、お祭り、映画会など小学校の校庭、お寺、神社などで地域の子供からお年寄りまで参加して楽しみました。又男の子も冬などはんてんを着て、女の子と一緒にまりつきをしていました。それもとても上手でした。小川での魚つかみ、田んぼのツボ取り、竹馬、ケンケンパ、鬼ごっこ、オハジキ、百人一首、カルタ取り、トランプ、お手玉、お歌の会等々地域の人達が一生懸命に私達子供を励ましさえてくれたのだと思います。又、遊びを通じて人との関わり、いたわり、助け合う心も、知らないうちに身につけてきたのだとも思っています。「地域での子育て」には安心安全が最優先です。支援活動をして下さる方々の養成講習会などはありましたか。
私は小学生の頃ボーイスカウトに入っていました。色々な作業をやり、市内の公園も日曜日毎に作りに行きました。そのお陰で会社へ入ってから人がやらないこと気付かないことも進んででき、皆に好意を持たれて社内も良い雰囲気です。今は勉強第一で難しいことですが、体を動かすことも頭を使うから長い目でみて良いことと思います
とにかく、昔は外で遊んだよ。問8で書いたように安い費用で、人数2人～多人数で年令も関係なく遊べる内容だったね。今の子供達には幼稚に見えるかなあ、でも楽しかったです。親は自分が生きている限り子供(たとえ自分の子が独立成功していても)については心配や悩みはつきものです。日々、自分の家庭内の平和、健康(生活)のためだけに忙しかったりで、他の子供さん達まで思いがいかないですが、それでも悩みのある方の話は聞いてあげられるし、自分の失敗談を話す事で相手も心が楽になると思うからそれぐらいの事はしています。

自 由 意 見

○昔は小学校の校庭も開放的で、私が小学校の頃は家族4人でバットとグローブを持って、野球みたいなことをやって遊んでいました。良い思い出。○私は40代ですが、私の母は70歳、子供好きで近くで(家の前の水路で)ザリガニを見つけては学校帰りの小学生の子に話かけています。お年寄りの方も、子育てのお母さん達の力になると思います。○この間、祖母が中学生の子達とニュースポーツをして、とても楽しそうに話をしてくれました。この地区で、いろんな年齢の人たちと、何かやれたら楽しそう。○私が小2の時、西端小学校百周年祭があり、運動会のリレーでは、小学生はもちろんのこと、20代、30代、40代とリレーが続いて、スケールの大きなリレーがあった。今でも少し覚えています。大人たちは、一生懸命走っていたのを覚えています。楽しかったなあ。今でも西小出身と聞くと、その人に小学校の頃を思い出して、懐かしがっています。○人とつき合うのは難しいけど、人の良い所とつき合っていけばいいので、あまり肩に力を入れないで、若いお母さん達も、楽しむつもりで、頑張っしてほしい。子供は勉強の優・劣を越えた良い所はある。お母さんが自分の子供のここはいい所と見つけてあげて、ほめてあげてほしい。それでいい。将来、良いお父さん、お母さんになる子供たちを育ててあげればいい。私たち親を子供は見ている。笑顔になれば、子供も笑顔になる。キラキラな笑顔を見られるのは親の特権だよ。(大きな声で笑う、その場の雰囲気明るくなるので、前向きに考えれば、良い所は見つけられるはず。)

現在応仁寺の公民館がある場所に小学校の校舎がありました。今では信じられませんが入学式当日に寒く雪がかなり降っていました。そして、昭和40年に現在の西端小学校がある場所に移転しました。当時は校舎が建っているだけで、運動場などは小石がいっぱいで、子供達は毎日沢山の小石をバケツに拾う作業や草取りを手伝いました。先生やPTAの方達も古タイヤを使った遊具を作ったり、花壇作りなど、子供達の為に西端小学校の為に頑張っっていました。私達もだんだんきれいになっていく学校を見て、うれしかったのを覚えています。また、高学年になれば、廃品回収の作業も子供達で行っていたと思います。子供達にできる仕事やお手伝いは沢山あります。学校の草取りや公園の清掃などもPTAまかせのようですが、面倒でも子供と共に作業ができるといいと思います。

昔は神社、道路で年齢の上下に関係なく夕食時まで上が下の面倒をみながら自然と“缶けり”かくれんぼなどしたものです。ゲームしすぎの昨今、外で遊べる場を多く欲しいと思います。

昔は学校が終ると近所の子供達が集まって、いろんな遊びを通じて、仲良くなっていったが、今は、個人個人での行動が多いみたい。集団で遊ぶことによって、子供なりに教わることも多くなり、個人個人での行動が多いみたい。集団で遊ぶことによって、子供なりに教わることも多くなり、個人個人での行動が多いみたい。

○花で遊ぶ…区民館、東プラ等の会場を使って碧南市内で栽培されているガーベラ、カーネーション、菊等の花材で、マグカップ等の花器に自由な花をいける。○対象を(子どもたち、子育て中のお母さん、お年寄り等年齢を問わず)で興味のある人はだれでもOK。○昔に比べて小さい頃に花に親しむ機会が少なくなっている。昔はレンゲの花、菜の花、タンポポ等身近にふれていた。

○良く公園で缶けりをよくした。○付近に遊具がある公園をつくってほしい。

自分の子供の頃は、今と違ってゲーム機などはない時代で、外遊びがほとんどであったので、鬼ごっこ、かくれんぼ、ソフトボール、メンコ、コマ回しなどをして遊んだものです。今の子供達は家でゲームばかりで遊んでいるように思います。もう少し外での遊びをした方がよいように思います。

小学校のグラウンドで遊ぶ姿が今はない気がします。自分の頃はグラウンドでタコ上げやコマなどしたり、暗くなるまで毎日学校のグラウンドで遊んでいました。今は時代が違うと言えばそれまでですが、もっと学校を開放して子供がグラウンドで遊ぶ姿が見たいです。とにかく外で子供が遊んでいる姿まったく見かけないですね。子供は外で元気良く遊びまわるのが一番だと思います。

○空き地や八柱神社でかくれんぼ、鬼ごっこ、ゴムとびで遊んでいました。正月は羽子板をした。○家の中ではおはじき、祖母手作りのお手玉(端布で中にあずきとかそばの実等が入っていました)○今や少子化で子育てに悩む親が多勢みえます。1つには核家族で特に祖父母のみえない家族で育った子供にはお年寄りの大切さを知る機会がありませんので、ふれあえる場を与えて下されば、子供達もよい経験になると思います。

最近子供達の外で遊んでいる姿が見られなくなり、少し淋しく感じます。昔はザリガニ、虫とりをしたりしてどろんこになって遊んでいる姿を見てほほえましく思いましたが、今やりたくてもできない子供達が少しでも外で元気にのびのびと遊ぶことのできる環境ができるとよいと思います。又、自然にも目を向けてほしいので、身近でメダカ、ザリガニが見られるような環境も大切にしたいし、協力もしたいと思います。

私が子供の頃は、どろだんご、おもちゃなどすべて手作りの物でした。今はお金で買えば良いのですが、親が遊び方を知らないため、自分の子供に教えられるのが現状の様に思えます。お年寄+親+子供(仮想3代)で共有できる場が必要だと思います。

昔は夏に蝉取り、ザリガニ取りなど外で遊ぶ事が多かった。今の子は外で遊ぶ楽しさを知らない子供が多いので、遊びの大会を開いたらいいと思います。

自 由 意 見
碧南は都会でなく田舎なのに、田舎の良さがなく子供の頃に思った。山があって木登りができるわけでもないし、海が近くても海水浴もできない、とても残念なことだと思います。子供の頃遊んだ衣浦の虹の公園へ最近行った時、あまりの汚さに悲しくなりました。人工的な遊具ばかりでなく、木登りしたり、小川で遊んだり本当の自然の中で体をもっと使って遊べるようになれるといいです。子供達に自然の良さや楽しさをもっと身近に感じてほしいです。
○子供みこし(お祭り)で、ふえやタイコなどたたきながら歩いたから。親から、そして地域の大人達との交流があると良いと思う。○元気ッス！碧南の踊りはとてもいいけど、親から子へ伝わる事がない様な気がする。○厄年のもちなげで、一番多くとれた人(子供)など毎年名前など残すのはどうでしょうか？参加する人も多くなると思います。
私が子供の頃は近所の子を集め近くの山に冒険に行きました。又、公園などで年の差も関係なく近所の子供が集まり暗くてボールが見えなくなるまで野球をしていました。子供達が安心して遊べる環境づくり、又、親達が安心出来る地域づくりをして欲しいですね。
○昔は近所の子供が集まって、石けり、縄とび、キーパー、ゴムとび、缶けりなどをして暗くなるまで屋外で元気よく遊んだよ～ ○子育てで悩んでいる人に相談をされれば何とか少しでも力になりたいと思っています。(この年齢まで皆さんに助けて頂いた分、何かの形でお返ししたい)
昔は外で元気にあそんでいた。安心してあそべる所を作って思いきり走り回りたい。
自分の子供の頃を思い出してみると、山あり、川あり、大樹や丸太置場ありなど。様々な遊び環境があり、そんな中で竹馬やいかだ、隠れ家等を作ったり、木登り、かくれんぼ等工夫した遊びを考えることにより、創造力を養うとともに、危険を伴う遊びの中で、自分を守る術を自然と身に付けていったように思う。今の子供達には同じように遊び環境は少なくなっているが、与えられた環境の中で、それぞれの遊びを創造していると思う。(自分の子もそうであった。)ここで大切なのは、昔のことを伝えることも必要かも知れないが、大人が出しゃばり過ぎて、子供の考えを遮らないようにすることである。遊びの環境のみ与えてあげて、遠くから見守ってあげる位が好ましいと考えています。
近年は塾、ゲーム等で遊ぶ子供が大多数で子供の生活様式が大きく変化している。この状態は時代の流れでやむを得ないところがあると思いますが、このまま放置すると自己中心的で協調性のない思いやりに欠ける人間が多くなり日本の将来が懸念される。家庭での躾を十分せずに他人任せはいけない。何か事があるごとに「学校がいけない」「市の対応が悪い」「〇〇がいけない」等々、責任を転化する傾向がある。子を持つ親は、自分の子供は自分が責任を持って躾をする義務がある。子を良くするも悪くするも家庭での躾にある。この対策は非常に難しい事なのかもしれないが、まず家庭での躾に重点をおいた諸施策を行い、それと並行して地域も一体となった子供の育成を展開するのが望ましいと思うが…
昔は学校から帰ると、すぐ公園に行って野球などで近所の仲間たちと暗くなるまでどろんこになって遊んだものです。今はファミコン等で1人家の中で遊ぶ子供が多く、人との接する事が出来ないまま大人になってしまっています。やはり、子供はお金をかけず、いかにみんなで外で、団円で遊ぶ事が出来る社会に戻すべきです。
昔は近所の公園でみんな遊んだものですが、今は静まりかえって淋しい気がします。親も子も進んで外に出て、公園の遊具を使用したり縄とび、ゴムとびなど簡単な道具を使って遊んだり、ベンチに座ってあやとりなんかを教えあったり、お手玉でもいいですね。お手玉などはお年寄りに教わって作ることから始めたら、もっと楽しくなると思います。
今は昔と違って環境があまりにも変わり過ぎてしまい、子供だけで遊ぶ事が出来ない世の中になっています。私が子供の頃は外で遊ぶのが楽しくて暗くなるまで外で遊んだものです。昔みたいに親が子供に安心して遊んで来なさいと言える様な所があればいいと思います。
○広い公園があって、学年が違う子とでも道具・場所を譲りあいながら遊んだ。そんなところから思いやりを学んだような気がする。○市が帰る時間が大体わかるように、放送をかけてくれていた。子供が帰る時間の目安になるので碧南市ではできないのでしょうか。
昔は子供が1人で遊んでいても治安が良く、大人が見守っていたが、現在は逆で大人が子供に手を出す様になって治安の向上が必要で有ると思う。
子供たちがもっと外で遊べる環境を使っていくべきだと思う。自分達は学校が終って、毎日暗くなるまで外で遊びまわっていた気がする。しかし現在は、塾があるし、テレビゲームもはらんして、昔の話は簡単に通用しないとは思うが。
○田んぼでワラをスズミにししたり、田耕し、畦づくり、稲刈り時ハザやスゲを作ったので農業の大変さを伝えたい。○竹を割って竹馬を作ったり、竹とんぼを作って飛ばし合いをした。
○上級生が下級生の世話をしていたぞ。○子供達だけで遊びを自由に出来る環境が必要だと思う。自分の事でいっぱいです。

自 由 意 見
私はもう 80 歳を過ぎました。もう少し若かったら少しは地区のために出来る事があるかも知れませんが、今の私には皆さんに迷惑をかけないよう暮らすのが一番の私の務めだと思って毎日を暮らしています。何も出来なくてごめんなさい。
折角のアンケートですが、私年を重ね過ぎ足腰も弱り何もお手伝い出来ず心苦しい事です。残念ですがよろしく願いいたします。
私の子供の頃は私と同じような年令の子供が大勢いて、集まってどこへ行って遊んで居りました。今は道を歩いても子供の姿はほとんど見掛けません。安心して子供を産める世の中でなくなってしまいました。子供を産める世の中に変えて子供が産まれてこなければ子育ても出来ません。どうしたら子供を産んでもらえるかが先ではないですか。
碧南市の誰が願っているのか、この願いは遥かかなた。その前に多くの課題、解決したい課題があると思います。地区で、この願いに合うかのような行事が単発的に行われていますが、“やらないよりまし”の感じがある。
“子育て”→子を育てるのではなく、現在の親になる(一部)男女が育っていません。年上の者が「そういう事をすると、ケガしますよ。品物をむやみにさわると店の人に迷惑ですよ。あなたのしていることは違っていますよ。」とほめもするけど注意もします。その返事が「おばさんがおこるのでやめなさい。」「気分が悪いわね。」等々。誉めた事にはありがたうでもなく、注意が怒られているとすりかえられてしまう。子供は育ちます。親が育っていないのです。支援の前に私達親の親が改めなくては、親その子たちは直りません、変わりません。他の子と比べるだけです。「親育て」をして下さい。
問 13 の答えになっていませんが、今の時代すぐ責任問題が発生するので、そここのところをしっかりと解決して頂き、安心して参加出来るなら、少しは協力させて頂いても構いません。必要な知識、注意事項等の勉強会も事前に行って頂きたい。すでにやってみえるなら、勉強不足で申し訳ありません。
何事にもまず大人が手助けしないと、子供だけでは無理なことが多いと思います。
子育て支援が社会的に進みつつありますが、今の社会は何かおかしいと思うのも現実です。私の場合、子育てについて迷うことは沢山あります。でも一番最近思うのは親の意識の問題だと思います。子育てについて改めて考えさせられる機会を頂き考える上で、何が大事かという基本的な道徳的なことが、忘れられるというか希薄になっている気がします。(自分を含め)
親を教育しないとイケないと思う。
自分の子供で生れて来たのだから、やっぱり母親は子供が大きくなるまで(中学生位)、親は子供を育てて行くのがあたり前だと思う。
周りの子供達を見ていると、学校から帰宅すると塾、おけいこにと1日に2~3カ所行く子供もいて、「地域で子育て」と言われても考えさせられる面がありますね。
地域力で子育て支援ができればよいと思う。
今の子供達は挨拶が出来ないことがとても残念です。これは学校や父兄のコミュニケーションが進んでいないのではないかと思います。それと学校の週休二日制は絶対反対です。理由はあまり時間が余りすぎて非行やテレビゲームに走り、貧弱な体になってしまいます。これはあくまで私の意見です。頑張ってください。
現在、僕は老人会の役員をしている関係で、子供たち一緒に色々行事をしたいのですが、僕が企画をして子供会の役員に相談に行くのですが、返事の連絡が来ない。子供会と餅つきを行って4年になりますが、それ際も日にちが決まらず困る年もある。子供を持つ親は「自分の子供の本当の性質」すら、わからない親がいる。(例)僕らが子供に注意すると、子供は家に帰り、親に自分の有利なように説明をすると、こちらの意見も聞かず「内の子供はそんなことはしない」と反対に怒られることもある。
現在の若い方々の考え方が理解できない時があります。時代の育ち方の違いで声が出せない時があります。世相の変り方の激しさの結果でしょうかと思われまます。
子育てに悩む方の相談に少しでもお役に立ちたいです。一人で悩まず、お互い声を掛け合っても、いいと思うのですが。自分さえよければいいと思う人が多い気がします。
お役に立てる事があれば、お手伝いしたいと思っております。子育ては本当に大変だと思うし、私自身も今、子供達が成長し、分った事が有ります。
元気な時は先に立って参加して居りましたが、今足を悪くして居りまして思うように成りませんが、何か出来る事があればお役に立ちたいと思います。
今回このアンケートを書くまでは自分の子供が現在社会人になった事もあって、正直“子育て”が遠い、あまり関係のない事のように思っていました。これを機に何か出来る事がないかと考えを改めました。支援のヒントにならなくて申し訳ございません。
○僕の家には知的障害者がいます。父、母さんが年を取って死亡した後、知的障害者の子供を見て下さる場所を碧南市でつくってほしいと思います。○パンキして遊んだり、自転車に乗って走ったりして遊んだ。

